

目を覚まして見わたす、山々と赤い屋根



大江町のユニークな地名といえば「十八才(じゅうはっさい)」。その十八才地区の一角にあるおうちをご紹介します。

間取りは5DK。コンパクトなつくりのため、1~3人暮らしの方におすすめです。



屋根付きがうれしい駐車場1台分と、雪かき用具などを置いておけるスペース。





おうちの中に入ると、リビングや、ダイニングとして使えそうな和室が2つ。



和室の横には物置き。前の持ち主さんはここに保存食や杵(きね)などを置いていたよう。このあたりの地区では、お盆のときなどにも自宅でお餅をつく文化があるそうです。



太陽の光がたっぷり入る、気持ちの良いキッチン。



コンパクトなダイニングには、2人掛けのちいさめのテーブルを置いたり、お気に入りの食器棚を置いたりできそうですね。



キッチンのすぐ後ろには浴室。扉の型板ガラスがチャームング。



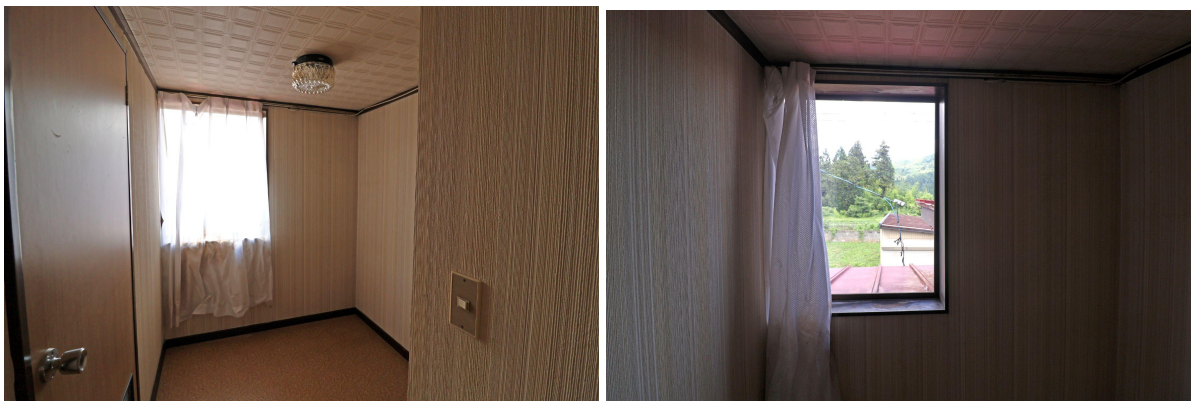
昔ながらのタイルと浴槽の色合いにも惹かれます。



お手洗いは玄関のすぐそばにあります。



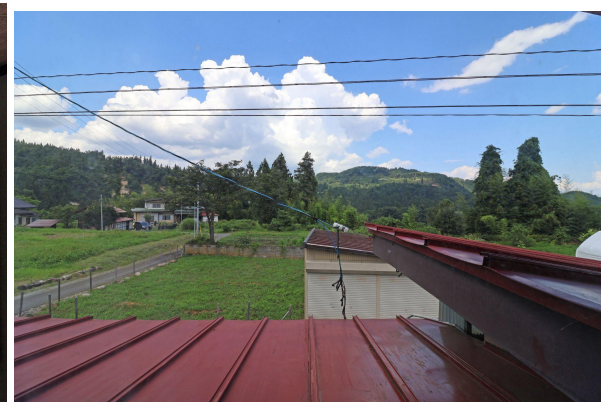
奥の和室のそばにはサンルーム。座椅子やアームチェアを置いてくつろぎたい。



続いて2階へ。踊り場にちょっぴりスペースがあるため、スツールを置いてお花を生けたりしてもかわいいだらうなあ。



2階も和室がふたつ。ひとつは寝室、もうひとつは仕事部屋にしたり、ふたり暮らしでお部屋を分けるのも良いですね。



窓の外に広がる、空と山々、絵本の世界のような赤い屋根。朝起きたら深呼吸して、自然の香りを吸いこみたい。



うちの裏側には、お手入れすれば菜園として使える敷地も。せっかくだから家庭菜園デビューはいかが？



おうちのすぐ近くの景色。

写真に写っている月布(つきぬの)川の下では、ヤマセミなどの野鳥を見ることもできるですよ。



窓の外に広がる山々をながめながらリモートワークをしたり、早起きして畑を耕したり。小さな赤い屋根のおうちで、あなたらしいすこやかな暮らしをつくっていきませんか。